

# ウメ「月世界」



## 徳島県果樹研究所育成ウメ品種「月世界」

「月世界」は早生の大玉で玉揃いの良好な梅酒用品種である。

### 来歴

県北分場において1959年に「城州白」に「鶯宿」を交配して育成された実生の中から1969年に選抜命名された。名前の由来は、当時アポロ11号が月着陸を達成したのにちなんでいる。

### 品種特性

樹勢が旺盛で樹姿はやや直立性である。葉は大きくやや丸みを帯びる。花は淡紅色の単弁である。

果実は「鶯宿」よりやや大きく、果形はやや長円形、果皮色は淡緑色である。

### 栽培特性

自家結実性があり豊産である。熟期は「鶯宿」より7日程度早く、徳島県の平野部では5月下旬に収穫する早生品種である。

ヤニ果の発生は「鶯宿」並であるが、熟期が早いのでヤニ果の発生時期も早く、早めの収穫が望ましい。黒星病の発生は「鶯宿」と同程度である。

---

[ホームページへ](#)

---